

車いすバスケット

11月25日(月)に車いすバスケットの選手 根木 慎志さんに来ていただき、全校生徒でお話を聞きました。

前半は車いすバスケットの模範演技と5・6年生による体験でした。

もともと奈良に住んでいらっしゃった根木さん、関西弁で子供たちを盛り上げるのがとてもお上手です。ぐいぐいと

子供たちをひきつけながら、バスケット用の車いすに乗り移ると、子供たちの間を縦横無尽に走り回ったりゴールにシュートを決めたり、素晴らしい技を披露してくださいました。



そしてよいよ体験。

昨年度来ていただいたウィルチェア・ラグビー(講師の三阪先生とも根木さんは仲良しだそうです)の車いすとは違い、とても軽くて動かすのがスムーズです。



ドキドキしながらも5・6年生は鮮やかなパスやシュートを見せてくれました。でも、車いすに座りながらシュートするので、

リングはとても高く感じるし、ボールを上げるだけの力が腕だけではなかなか足りず、苦労していました。

後半は根木さんの体験に基づいた「できないこともカッコ悪いわけではない、みんなで応援してみんなで頑張ろう」というお話と「どんな状態であろうと困らなければそれは障害にはならない、みんなと同じ」というお話を来ていただきました。

